

1. 推進事業(産地競争力の強化)

事業費	27,387,885円(うち交付金	26,100,000円)	都道府県	千葉県		
			事業実施年度	平成23年度		
現状と課題(※計画地区等における現状を踏まえて、課題を数値等も交えて具体的に記述すること。)						
<p>平成23年3月の東日本大震災の発生直後より、県内では、クーラーステーションや農場が停電となり、391tの生乳が廃棄されることとなった。また、その後、放射性物質の飛散により、東日本全域で牧草が利用できない状況となり、県内の粗飼料が一時的に調達できない状況となった。さらに利用可能な粗飼料を調達しても、酪農家ごとの給与体系の変更に苦慮することとなり、適切な飼養管理を行えなかったことにより、県内の生乳生産量が減少することとなった。</p> <p>一方、牧草の放射性物質が暫定基準値以下であっても、放射性物質が生乳へ移行することを懸念し、自給粗飼料の給与自粛や粗飼料給与量を通常より減少させるなど、酪農家の経営に影響がでており、県内の酪農家に安全な粗飼料を供給することが急務になっている。</p>						
課題を解決するため対応方針(※上記の課題に対応させて記述すること。)						
東日本大震災の影響を受けた県内酪農家に対し、安全で良質な粗飼料を一時的に供給する取組に支援する。						
都道府県における目標関係						
取組名	成果目標	事業実施後の状況			備考	
		計画時	実施後	目標		
力強い酪農経営復興対策	生乳生産量の回復	酪農家823戸(平成23年3月時点)平均生乳販売量296t/戸(平成22年度)	酪農家736戸(平成25年3月時点)平均生乳販売量314t/戸(平成24年度)	平成24年度の1農家当たりの平均生乳販売量を平成22年度の1農家当たりの平均生乳販売量まで回復。	106%	成果目標の具体的な実績 (目標値)296t/戸 生乳販売量/出荷戸数 (実績)314t/戸 生乳販売量/出荷戸数(平成24年度)
事業実施地区数						
県内一円	総合所見 乳牛飼料の約半分を占めている粗飼料の給与制限や飼養環境の変化などもあって、県内の生乳生産量は減少することとなったが、事業実施団体が安全で良質な粗飼料を一括購入し、県内の酪農家に対し供給したことにより、本来の飼養管理が行えることとなり、牛への栄養・健康面も安定し、乳量の回復に繋がったと考えられる。					

(注) 1 別紙様式1号に準じて作成すること。

2 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。

(別紙様式2号 別添1)

都道府県内における推進事業取組実施状況一覧表(産地競争力の強化)

取組名	事業実施主体名	計画策定時	事業実施後(目標年度)		目標(平成24年度)		事業費(円)	負担区分(円)				目標達成状況 B/A×100	事業主体等による評価結果	都道府県による点検評価結果(所見)
		被災前22年度	実績値	事業実績	目標値	具体的な事業内容(計画)		交付金	都道府県費	市町村費	その他			
力強い酪農経営復興対策	千葉県酪農農業協同組合連合会	平均生乳販売量296t/戸(平成22年度)	平均生乳販売量314t/戸(平成24年度)	震災の影響により飼養環境が変化し、生乳生産量が減少したが、事業実施により飼養管理が改善し生乳生産量も回復した。	平成24年度の農家当たりの平均生乳販売量を平成22年度の1農家当たりの平均生乳販売量まで回復	東日本大震災の影響を受けた県内酪農家に対し、安全で良質な粗飼料を給与する取組を支援	27,387,885	26,100,000			1,287,885	106%	安全で良質な粗飼料を迅速に県内酪農家へ給与したことで、飼養環境が改善し乳量が回復。良好な飼養環境の継続で、乳量の増加に繋がった。	震災の影響で飼養環境が悪化したが、良質な粗飼料を迅速に配布したことにより、乳牛の栄養面が改善し、生乳生産量の低下も最小限に抑えられたと考えられ、事業は効果的であった。
-	-											-	-	

(注) 1 別紙様式1号の別添1に準じて作成すること。

2 「都道府県による点検評価結果(所見)」には、都道府県としての事業実施主体ごとの目標達成状況に関する評価を記載するとともに、目標未達成の場合には改善措置の指導の必要の有無を含めた今後の改善指導方を記載する。

別紙

地方農政局等における事業評価総括表(推進事業)

(千葉県)

分野	メニュー(取組名)	成果目標	事業実施地区数	評価対象地区数	成果目標の達成率	評価対象外の地区がある場合その理由	地方農政局の所見	
							改善指導の必要性	
産地競争力の強化	力強い酪農経営復興対策	生乳生産量の回復	1	1	106%	—	無	成果目標を達成した。